

たのしいをモットーに

粉美紗斗

私が初めてラジオパーソナリティーという職業を意識したのは、高校生の時でした。元々声優さんが好きで、ずっとネットラジオを聴いていたのが影響です。その後はアナウンス系の専門学校へ進学し、向いているなと思うことと、自分の実力が理想と現実でギャップがあると打ちのめされる日々でした。エフエム宝塚のオーディションも、制限時間内に収められないわ、思うように喋られないわで悔し泣きしながら、逆瀬川駅のホームで父に電話したことを覚えています。その中で、やっぱりラジオの仕事をしたいと思ったのは、この職業を通して知り合った人々から教えてもらったことがたくさんあるからです。音声だけで表現する難しさと楽しさ、客観的に自分を見る素直さ、コミュニケーションの大切さ。放送に関することだけでなく、人

間力に関することもです。私にとって「ラジオ」は「社会」なのです。

ラジオを通して地域の歴史、伝統、人との繋がりが、街への興味が湧きました。また、調べていくうちに楽しかったのです。そういったことにも気づかせてくれました。

私は、「聴く」という魅力に惹かれた「ラジオ」でお話したいのです。そしてラジオを通じて出会った素敵な人たちに近づきたいのです。私が感じた楽しいと伝えたいを、これからも宝塚の情報とともに発信していきます。